

A-112 宮崎県における幼児・学童の栄養内容と脚気とのかかわりありについて  
(第一報)

宮崎女子短大

橋山ユキオ

1. 目的 南九州地方において脚気並びに増新の多発を新聞紙上で知り、食物の摂取、栄養状況の關係があるのでは有りだろうかとの研究に取りくんだ。
2. 方法 昭和51年6月2, 3, 4の3日間、都市部、都市周辺、農村地区の3地区を選び管内栄養士の協力を得て、5才児、小学生5年の学童を対象として、母庭舎、給食舎、向舎の摂取状況を調査し、栄養分析を行った。宮崎県は全部米、給食パンにはVitamin B<sub>1</sub>の強化を行っているので調理による損失を差引いても、結果的に微量成分に就いてはその不足から起る脚気症状は見当らなかつた。特に食品構成、おやつについては近代的な食相をあらわしている面と面白結果が見られた。
3. 結果 この度の調査が幼児、学童に限られたので引き続き各学級、高等学級の栄養調査を行いその実態を明らかにし、並びに栄養、運動の面からの關係があるのでは有りかと思察しをり。